

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協ひろば

第51号（準備会から通算第72号）

発行日 令和3年7月3日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 山崎 徳次郎

・・・手話は言語である・・・

最近テレビニュース番組で各地の知事の隣で、知事のコロナ感染状況等の説明に合わせて、表情豊かに手や身体を動かしている方を見かけることが多くなりました。

手話通訳者です。

彼等は手話通訳者全国统一試験の合格者で、テレビニュースを見ているろうあ（聾啞）の方々に知事の発する音声言語を即座に手話言語に代えて表示し、知事の発言を見える化し、ろうあの方々に伝えています。

声（音）の見える化です。

2006年12月国連で「手話は言語である」と定義され、手話が音声言語と同じように「言語」として国際的に認知されました。

日本も2014年1月に「障害者の権利に関する条約」を批准し、2015年4月に神奈川県手話言語条例を施行しました。

日本語を学ぶと同じように手話を学びましょう。

良く聞かれるのは「手話は世界共通ですか？」と云う事ですが、言葉ですので、一般言語と同じで共通ではありません。

日本国内ですら地域による「方言」もあります。

校区住民協代表 山崎 徳次郎

令和3年6月度役員会

開催日時と場所：2021年6月5日（土）

13時30分～15時30分、久木会館

参加者20名（うち役員13名）

議題

(1) 事務局からの報告事項

①逗子市住民協連絡会（5/28(金)実施）報告

住民自治協議会に関して、そのバックボーンとなるべき逗子市自治基本条例の制定が、棚上げされまま、住民協の設立が先行された形となっており、住民側からは条例制定を求める声がある。

本件に関し、市長より、まずは逗子小学校区の住民協設立に精力的に取り組み、目途がついた段階で条例制定に注力するとの意思表示があった旨報告された。

また、アーデンヒル地域において、高齢者の交通

アクセスの一助として、ダイヤモンドタクシーの採用を検討する為のパイロット事業が開始されるとの情報があり、久木地区としても共通の課題であり、動向を注視していく旨説明があった。

②久小校区住民協代表交代に伴う銀行口座の件
横浜銀行にある住民協口座の代表者登録を田倉氏から山崎氏に変更する手続きが完了した旨報告された。

また、会計より、「まちの子育ち」解散に伴う寄付金 10 万円の振り込みがあった旨報告された。

(2) 審議事項

① 逗子市住民自治協議会要綱についての説明及び意見交換

配布資料③に基づき、逗子市市民協働課/石井次長より、住民自治協議会の役割を改めて考えるとの趣旨で説明があった。

③久小校区住民協公式 F/B アカウント開設の件
5 月 29 日に会長、事務局と女性 3 名の会員で打ち合わせし、トライアルとして、特に文字離れしている若い人向けの情報発信ツールとして、フェイスブックに住民協をアカウント登録した旨報告され、役員会にて承認された。(登録名は「住民協ひろば」)

アクセスの方法など、後日メールするので、各々発信情報の内容等を確認してもらい、後日、住民協 F/B の在り方について協議したい旨要望された。

説明の後、意見交換が実施され、行政と住民側、種々意見が交わされた

② その他

「配布資料④久小校区住民自治協議会・会員名簿」に関し、記載内容に修正が必要な場合は、速やかに事務局に連絡するよう要望された。

《連載》 未病・健康に関することⅣ

コロナ禍による自粛の生活の影響もあり、高齢者のフレイル（身体の虚弱化）を防ぐ活動が活発に行われ始めています。高齢者で起こりやすい事故の一つは転倒、転倒を防ぐためには下肢の筋肉を落とさないようにすることが大切、そ

の一つの方法が簡単にできるベンチたいそう、山の根自治会で始まったベンチ体操をさっそくレポートしていただきました。

感動の結果が出始めています。

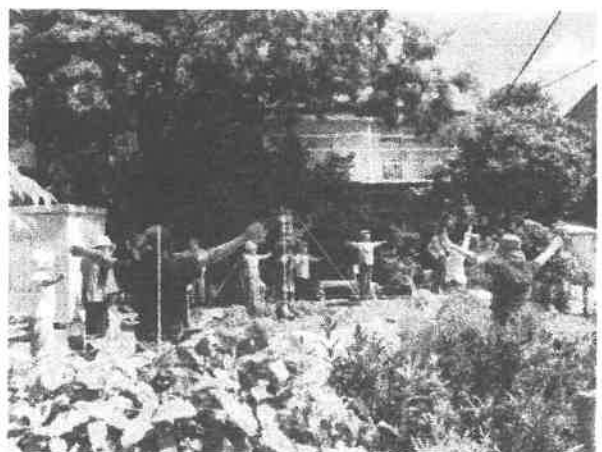
§ ベンチたいそう実践編・・・山の根体操クラブから

報告者 芹沢 ふさ江（山の根在住）

最近よく聞くフレイル<加齢と共に心と体が衰える現象>、中々自分ではわからない衰えをどのように気にしていくか？身近で出来ることからまず始めてみるのが無理なく続けられることなのかと感じた出来事です。

山の根の小さな公園・トーテムポール広場で 5 月 11 日から体操クラブが始まりました。

コロナ禍がなかなか終息しない中、第 1 回のベンチ体操・ラジオ体操が実施され、小雨交じりの曇り空でしたが約 17 名の方が参加されま



した。

あるお知り合いの方のことです。コロナ禍の前までは毎日のように色々なサークルに参加されていましたがすべて閉鎖になり、1年半が過ぎ気になっていたのも前日にお誘いに伺いました時、「どちら様ですか」といわれ、芹沢ですと言いましたが分からず（ショック!!）、明日から広場でラジオ体操が始まるのでお誘いに来ましたと伝えました。当日、9時20分にお迎えに伺うと、また誰でしたか言われてしまいました。お出かけは好きな方なので参加することは出来ました。ラジオ体操第1第2はスムーズではないにしてもしっかりとやっている後ろ姿にほっとしました。そして、お疲れさまと彼女に言ったら「芹沢さんありがとう」といわれました。

うわー!! 感動です! お会いし話をし
運動をするって

こんなにも活性化するんだ!!

と実感しました。これから毎週火曜日にお迎えに行くのが楽しみになり、「どちら様ですか」から「あら芹沢さん」といつてくれる日まで。

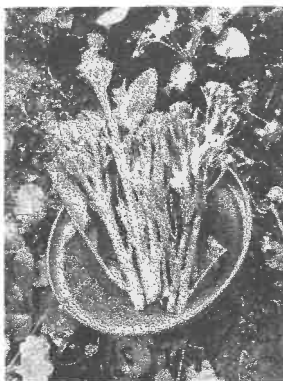
私たち昭和生まれにとってラジオ体操は身体にしみ込んでいます。あの音楽と〈ラジオ体操第1始まり〉のアナウンスで自然と身体が動くということはまだ大丈夫、そして広場できれいに咲いた花々の中でのおしゃべり、この1年半の自粛生活で自分の中の変化を皆と共有できる、このコロナ禍の時期だからこそ思いついた心と身体を活性化出来る出来事です。

私の人生はあと何年? かな、いやいやワクチンの接種も始まりこれからは二つの趣味、多勢でやることと一人で出来ること、それがあればこれからの人生は豊かになり社会参加も出来るでしょう。

《トピックス》

スティックブロッコリー：家庭菜園に最適

スティック（茎）ブロッコリーは、ブロッコリーと中国野菜の菜花の一種を掛け合わせて創り出された新しい野菜、大きく育つ頂花蕾を食べるブロッコリーとは違って、脇芽として長く伸びた茎を花蕾と一緒に食べます。茎は甘みがありアスパラガスのようにコキコキと歯ざわりよく食べられます。



特徴は、脇芽の成長が早く残された葉の付け根から次々と出てくるので、週に1回程度、長い期間にわたって収穫できることで、その日のうちに食卓に載せられる、将に家庭菜園向きの野菜といえるでしょう。スティックセニョールという名前でも出回り始めています。

作り方はブロッコリーと大きくは変わりません。2月か7月頃に種まきするか、一月後の3月か8月ごろ苗を買って育てるかして、4月から6月或いは10月から年明けまで収穫することが出来ます。

育てるコツは幾つかありますが、先ず大きく育て長く収穫するためには元肥として堆肥をたっぷり施しておくことでしょう。

この野菜の大きな特徴となりそうなことは、ヒコバエ（薬）が出てくることです。ヒコバエとは根元から出てくる若芽（ベールシュート）のことですが、実は収穫を終えて畑のブロッコリーを根から抜き去ろうとしたとき、ヒコバエが生えていることに気が付いたのです。ヒコバエを上手に育てれば幹を更新して新たに収穫することが出来ます。そこで抜き去ろうとしたブロッコリーは、主

幹を切って掘り起こして新しい土に植え替えて、ヒコバエを育てて第2世代の収穫を試みようとしています。

刈り取り後の稲にヒコバエが生えるのは普通に見られる風景ですが、今暖かい九州地方では、このヒコバエを育てて二期作として収量を上げようという試みが始まっているそうです。ベーサルシュート育てるバラの樹の更新のように、ステッキブロッコリーでヒコバエから収穫できるかどうか、試みの結果を機会があれば改めて皆様にお伝えしましょう。

二世帯の菜園なら、二本植えておけばよいでしょう。数カ月間、週に一度は賞味できる楽しい野菜です。苗を育てて、朝市で皆様に提供できれば嬉しいですね。



鈴木 為之 (山の根在住)

毘沙門村落を訪ねての記事の一部訂正

住民協ひろば第50号(令和3・6・5発行)・「三浦半島の一隅・毘沙門村落を訪ねて」の記事の末尾に記載したバス便に誤りがありましたので訂正いたします。記事には、辿った街道には1時間に1本程度のバス便があり、三崎口駅～剣崎経由三浦市街とありますがこの記事内容は間違いで、正しくは「三浦海岸～剣崎～大乘～三崎東岡」の経路で、大乘が最寄りのバス停です。

尚、系統は34・35、三浦海岸から大乘までの所要時間は約31分、運賃は390円です。

編集後記

コロナウイルスの感染防止を意識して最近はややステイホーム的な生活を送っており、米国大リーグ大谷の活躍をTV観戦することも多くなった。その放映時間の前の時間帯にNHK BS1で15分程度の宝石箱の様な素晴らしい番組に出会うことができた。

「駅・空港・街角ピアノ」という番組である。世界中の駅や空港や街角の人の集まる所にピアノが置かれ人々が自由にピアノを弾き、或いは弾き語りを歌う場所があり、様々な人がピアノを弾き、弾き語りで歌を歌う、当番組はナレーションも無く、あるのは演奏者の音楽のみ。TV下方に演奏者とその場所の関わり、その人の歩んできた人生、音楽と関わり等が字幕スーパーで流れる。毎回様々な所で様々な人がピアノを弾き、歌を歌う。ベートーベンやモーツァルト等のクラシック、ジャズ、ボサノバ等演奏者が思いを寄せる曲が演奏される。プロのミュージシャンや音大生等経歴は様々。

印象に深く残った回はヨーロッパの鉄道の駅に置かれたピアノで50歳ぐらいの夜勤帰りの男性がソウル風の曲を弾き歌っていた。その曲が妙に演奏者と一体となって心に染みるものであった。字幕スーパーが流れその男性は若い時、障害事件を起こし刑務所に入れられ、ピアノは刑務所で覚えたと言う、「今までは良いことが無く人生を諦めていたが、今は最高に幸せ」と言う。その男性がいつもの様に駅で弾き語りをしていると、ある女性が近くでその曲を聴いて話かけてきて、今ではその女性と結婚し今は幸せ」と言う。

毎回、様々な人と音楽が紹介され、地味ではあるが素晴らしい番組となっている。読者の皆様も当番組で様々な音楽と人生に出会うことをお勧めする。

事務局長 石井達郎